

## 令和元年度第2回広島県公立大学法人評価委員会議事要旨

- 1 開催日時：令和元年8月29日（木）10：30～12：00
- 2 開催場所：サテライトキャンパス広島503会議室
- 3 出席委員：曾余田委員長・浅田委員・山川委員・福田委員
- 4 議 題：公立大学法人県立広島大学業務の実績に関する評価結果（案）について  
〔第二期中期目標期間（H25～30）の終了に伴い、第二期中期目標期間及び平成30事業年度の業務の実績に関する評価を実施〕

### 【主な意見（委員○・事務局●）】

#### （「小項目評価結果」について）

##### ～ H30 事業年度 ～

- H30年度の「外部資金の獲得」の評価を「2」としているが、「2」にした理由は「3」の基準（目標達成率90%以上）を下回っているからであるがどうか。
- 「2」で仕方がない。中期としては「3」だと思うが、H30年単年度でみれば基準を下回っているので、「2」とするしかない。

##### ～ 第二期中期目標期間 ～

- 中期目標期間の「定員充足率の改善」の部分だが、委員会評価を「2」にするかどうかで議論が分かれているがどうか。
- 中期目標期間の6年間の評価として100%を超えているのが2回あって、90%が1回、これをどう見るのか。平均として評価「3」とみてもいいし、R元年度が下がっているのでも、評価「2」ともいえる。
- この部分は、大学としても課題意識を持っている。（P4の）今後の取組にもあるが、他大学へのPR等にも取り組むこととしている。
- （総合学術研究科全体のR元年度入学者）53人はちょっと目立つ数字ではある。
- 大学側も課題意識を持っているということであれば、評価「2」でどうか。
- 評価「2」が良い。
- 「教員業績評価制度」の部分だが、ある程度、他の大学でも同じようなことはやっており、改革の成果は今回の期間中では、なかなか見えにくいという意見のもと評価「3」としているがどうか。
- 大学としては、教員業績評価制度を導入し、H30年6月から勤勉手当に反映させるなど、改革を進めたということで、評価「4」としている。
- この部分の各年の年度評価はどうなっているのか。
- 6年間すべて評価「3」となっている。
- 各年度の評価がすべて「3」で、中期目標期間が評価「4」というのは整合性がない。制度をつくって実施したことは分かるが、これで全体のモチベーションが活性化することが重要であって、制度をつくるのが目的ではない。全体の組織が活性化する丁寧な運用方法ができたときに、高い評価になる。
- 評価の整合性の問題と、改革によって何かが出てこないといけないうことで評価「3」でいいか。
- 中期目標期間の評価については、「定員充足率の改善」は評価「2」、「教員業績評価制度」については評価「3」ということで決定する。

## （「項目別評価」について）

- P3の「①教育に関する取組」には、取組だけでなく、成果も書かれているので、記述は「①教育に関する取組と成果」とした方が良い。そうすることで、取組と成果があって、評価があるという流れが明確になる。
  - 「成果」という言葉は入れた方が良い。
  - すべての項目について、追記する。
  - 最後（P13以降）に（小項目の）項目数が出ている。小項目評価結果に主な項目の評価が記載してあるが、全ての項目の評価がどうなっているのか分からない。全ての項目の評価を示せないか。
  - 評価項目の一覧表を添付する。
  - P11の「教員業績評価制度の適切な運用等」の「大学運営の改善や教員の教育力・モチベーションの向上に向けた取組が着実に進んでいる」という部分は、今回言い過ぎではないか。「参画意欲の向上を図りながら進められたことは評価できる」でいいのではないか。
  - 今回、「第二期中期目標期間」と「H30事業年度」（の評価）があるが、（そのことを資料の）始めのほうに入れてもらえると分かりやすい。
  - そのような文言を加える。
  - P10「地域貢献・連携活動」に成果があがっていると書かれているので、具体的な成果を追記した方が分かりやすいのではないか。
  - P1の中期目標期間の部分で、4項目のうち、3項目がA評価、1項目がB評価で、全体として低い方の「おおむね良好」であるという評価になっているがそれでいいのか。
  - 実施要領に明確なルールはない。全体評価と項目別評価の総合的評価となっている。
  - 1項目のB評価が教育に関する部分であり、大学において教育が一番重要ということで、その比重が大きいという解釈はできる。
  - 「大学運営の効率化」の中で、（事務）職員の姿が見えづらい。職員のモチベーションを上げるような記述があるといい。
  - SD（職員）研修の充実等を図っている。
  - そこは重要な部分。
- ⇒ 今回の委員意見の評価案への反映について、委員長に一任の上、事務局と調整することで了承。